

学校教育目標：「よく考え 笑顔で 元気な 大海っ子の育成」

平成30年度
大海小学校だより

12月号

おおみ

平成30年11月29日

校長 山本 洋

＝ 今年もふるさと教育に力を入れています ＝

先日、3年生のところに岡山市立蛍明小学校から、自分たちの住む地域を紹介するメッセージカードが届きました。大海小学校と学校規模が似通っており、3年生の人数は18名だそうです。早速、大海っ子もお礼の手紙を書き、いっしょに柿をたくさん送りました。もちろんふるさと大海の名産「紋平柿」です。自分たちが渋抜きをした柿だけでなく、今年もこちらでもめずらしい「キング紋平」を地域の皆さんにお世話していただき、18個送ることができました。3日後、向こうの学校から連絡があり、こんな大きな柿は見たことない、そしてとっても美味しいと返事をいただきました。大海っ子も自分たちの地域の柿をこんなにほめてもらえてうれしそうでした。この後、交流先の蛍明小学校から自慢の「足守メロン」という名産が届く予定です。メロンを食べて、こんなおいしいメロンができる岡山はどんなところなのだろう。大海の自慢も教えてあげたいな…こんな具合にフルーツを縁に、遠く離れた地域と自分の住む地域を比べながら



学習を進めていきます。この他3年生は、近くの高松小学校とも交流しています。先月は、大海小に来てもらいました。来月は、高松小におじゃまして交流します。



他の学年も大海川、福祉等をテーマにふるさと学習に力を入れ、地域と積極的に関わる学習に取り組んでいます。今後ともいろいろな形で応援をお願いします。

＝ 大海川にサケが上ってきた ＝

学校のすぐ横を流れる大海川は、初夏には鮎が水面を踊り、秋には鮭が遡上してくる自然豊かな川です。

ついに今年、学校として大海川を遡上するサケを映像で捕らえることができました。前々から子ども達に大海川を泳ぐサケを見せてやりたいとお願いしていました。11月16日八野地区まで上ってきたと教えていただき、カメラを持って急行しました。しかし、残念ながら発見できず。二ツ屋地区ならポイントが決まっているとの新たな情報を得て、念願のビデオに収めることができました。子ども達にサケのことをたずねると、やはり見たことない子ばかりで、今後の学習に役立てていこうと思います。親切に情報を入れていただきありがとうございました。

学校では、この大海地区にとってかけがえのない財産である大海川の自然や豊かさを理解し、後世に残していこうという態度を育てることが大切だと考えています。大海川に架かる橋を毎日渡って登下校する子どもたちにとって、当たり前前の景色となってしまうふるさとの川を今一度見直して欲しいと思います。5年生も12月からイワナの飼育に挑戦します。

＝ ふるさと学習発表会・ありがとう集会 ＝

今年もたくさんの地域のみなさんを招いて感謝の会を催します。感謝の気持ちを伝えると同時に、自分たちが調べたふるさと大海についての学習の成果を発表し、地域の皆さんとの交流を深めます。校外に向けて学習成果を発表し、たくさんの人と関わる絶好の機会にさせてもらっています。給食も食べながら、自然な「対話」ができるようになることも目的です。こんな経験が将来身につけたい能力の育成につながりとても役立っています。参加して下さいみなさん、おいそがしい中たいへんありがとうございます。

